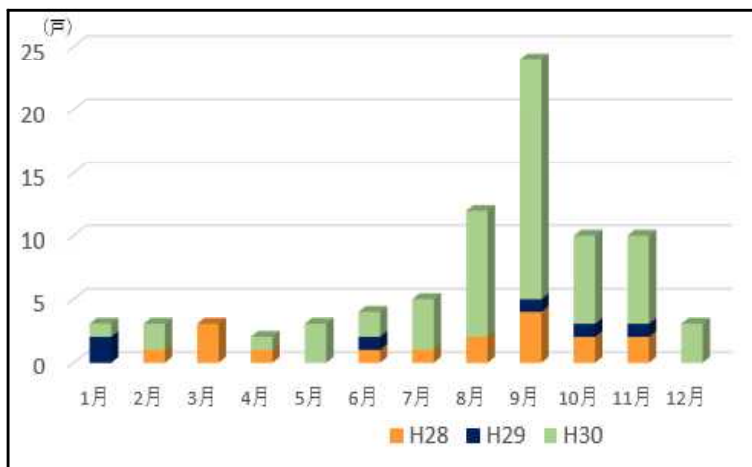


サルモネラ症 注意継続を!!

朝晩涼しくなり過ごしやすい季節になりましたが、サルモネラ症には、まだまだ注意が必要です。

右グラフは、平成28～30年次の月別サルモネラ症（牛）の発生戸数です（乳・肉用牛農場の合計戸数、届出対象のみ）。

気温・湿度の最も高い8月より、9月の発生が多いことがわかります。



環境中でサルモネラなどの細菌が増えないよう、飼槽・水槽等を中心に牛舎の衛生管理の励行をお願いします。

牛のサルモネラ症の主な症状

- 発熱（40℃前後）
- 下痢・軟便（ときに血便）
- 乳量減少・流産・肺炎 など

発見したら
すぐ獣医師に連絡を

Check!
👉



サルモネラを侵入させないために

- ▶ 敷地の出入口に石灰を散布
- ▶ 牛舎毎に踏込消毒槽を設置
- ▶ 野生動物や野鳥の侵入防止
- ▶ 導入牛の一定期間の隔離・観察



サルモネラを増やさないために

- ▶ 牛舎の定期的な清掃・消毒（特に飼槽・水槽は念入りに!）
- ▶ 異状牛の早期発見と隔離
- ▶ ストレスの少ない飼養環境づくり



北海道渡島家畜保健衛生所

TEL 0138-49-5444（休日・時間外は携帯に転送されます）

<http://www.oshima.pref.hokkaido.lg.jp/ds/khe/index.htm>